

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	九州産業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キュウシュウサンギョウダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F140310110687
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	福岡県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	観光インターンシップ
	学部・研究科等名	地域共創学部：観光学科
	担当教職員名・役職	千 相哲：教授
	受講者数実績年度	令和2年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	157
	受入企業等数	48
	受入企業等名	(株)JR博多シティ、西鉄ホテルズ、柳川観光協会、他45社
	インターンシップの分類	2.有給インターンシップ 3.海外インターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	24日以上インターンシップ
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例：ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	総合的・専門的就业体験を通じて、高い職業意識を持ち実践的な人材を育むため、受入先のアウトラインを学び、業態に応じ実務体験を行う。また業務の一環として、グループワークを実施する。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 6単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	学部2年次を対象。 履修科目として、授業期間中・休業期間中に実施し、6単位を付与する。
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい

要素③	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容		
3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	インターンシップ先の企業研究を行う	
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	研修報告会の実施	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	振り返りによる改善を図る・目標と結果・自己評価・報告書の提出	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準（例：ルーブリック）を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	ルーブリックによる事前事後の効果測定や実施中は達成度の確認を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	24日以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	

	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	192時間以上。時期・期間は受入先と相談。
	5-3.上記回答内容に関する詳細	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
		5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
6.企業と協働して、PDCAを実施している		
6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	マッチングのための企業説明会と面談の実施。	
6-3.上記回答内容に関する詳細	受入企業も協力してプログラムを設計し、評価シートも作成し測定に活用している。また、マッチングのための企業説明会と面談の実施。	
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.kyusan-u.ac.jp/ext_syllabus/syllabusSearch.do	
問い合わせ先	大学等名	九州産業大学
	担当部署名	地域共創学部：観光学科
	担当者役職名	教授
	担当者氏名	千 相哲
	電話番号	
	メールアドレス	